

「まちづくり」 学習会

大阪府人権協会では、今後の「まちづくり」に関わっての学習会を開催しています。
特に、様々なまちづくりの手法や住民参加によるまちづくり先進的な事例等について、「支援ニュース」で報告していきます。

日時 2003年 2月 3日(月) 13:30～16:30
場所 大阪人権センター 6Fホール
テーマ 「ストック活用と同和地区における住宅・まちづくりを考える」

～ 団地再生のすすめ:欧米先進事例に学ぶ～
講師: 渋谷 昭さん(「団地再生研究会」事務局長・渋谷昭設計工房)
宮坂 公啓さん(宮坂建築事務所)
参加者 105人

参考本 「団地再生のすすめ」
～エコ団地を作るオープンビルディング～
編・著:「団地再生研究会」/発行所:(株)マルモ出版
定価:2,000円(税別)



住み続け、住み継がれるすまいとまちづくり

「団地再生研究会」では、老朽化した団地の問題は、先進諸国に共通する課題であることから、国際会議への参加や国際的先進事例の視察研究、住民意見のヒヤリングによる日本の今後のあり方を研究してこられました。

学習会では、ヨーロッパでの先進事例をパソコンにより紹介いただき、特に団地再生に特有の住戸内リフォームの手法やエレベーターの設置、外断熱や5階を4階建てに減築する住棟再生手法などの例を紹介いただきました。

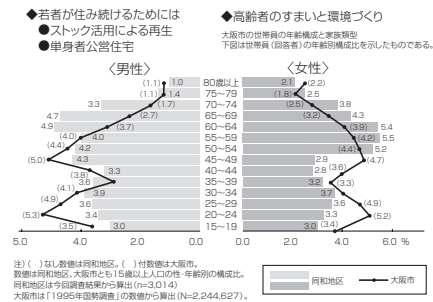
2000年に行われた同和地区の実態調査からも高齢化が進行し若年者が流出している実態をふまえ、多様な住宅供給

給やバリアフリー化、住民参加手法としてのワークショップなどが提起されました。

また、「オープンビルディング」といわれる建築と都市計画の新しい考え方が、こうした「団地再生」の有効な方式であり、建設産業の活性化も促していくことなどビデオを通じ説明いただきました。

最後には、老朽化した住宅団地におけるコミュニティの安定を図りつつよい住環境をつくっていくためのストック活用など方向付けられました。

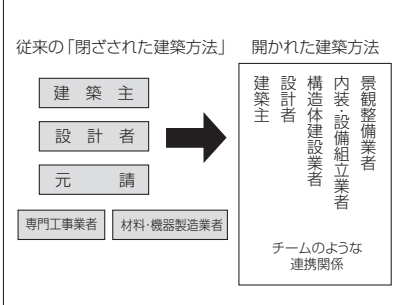
再生への課題 - 大阪府(市)の実態から



再生事例報告-エレベーター設置



「開かれた建築方法」と「閉ざされた建築方法」の比較



公営住宅ストック総合活用計画に基づく計画的な改善・更新フロー

